

令和 6年度予算見積調書

課室名：疾病対策課
 担当名：総務・疾病対策担当
 内線：3593

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
S181	循環器対策推進事業費		一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	循環器病対策推進費		
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法		針路	06	人生100年を見据えたシニア活躍の推進	SDGsゴール 3	
					分野施策	0601	生涯を通じた健康の確保	SDGsターゲット 3-4	
1 事業概要	<p>「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」(平成30年12月14日公布)に基づいて策定された「埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画」により、循環器病対策を総合的かつ計画的に推進する。</p> <p>ア 埼玉県循環器病対策推進協議会運営事業 3,283千円</p> <p>イ 地域連携推進事業 340千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 循環器病対策推進協議会(全体部会・各部会)の運営 3,283千円</p> <p>イ 地域検討会の実施 340千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 協議会の委員は、循環器病患者等、救急業務従事者、保健・医療・福祉関係者、学識経験者等をもって構成する。循環器病の予防並びに循環器病患者等に対する保健、医療及び福祉に係るサービスの提供に関する状況、循環器病に関する研究等を踏まえ、循環器病対策を推進するための施策について、部会ごとに検討を深める。</p> <p>イ 「急性期」「回復期」「維持期」のそれぞれ段階で患者に関わる医療機関・介護福祉施設等の従事者を対象として地域ごとに検討会を実施し、異なる機関・施設ごとの情報共有・連携体制に対する検討や循環器病対策についての正しい知識の共有を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>本県の特性に応じた施策を検討することで、県民の健康寿命の延伸等を図り、医療及び介護に係る負担の軽減に資することができる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>協議会委員として循環器病に係る関係者、団体と連携し、協議を行う。</p>						
2 事業主体及び負担区分	<p>ア (国1/2・県1/2)</p> <p>イ (国1/2・県1/2)</p>								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1人=9,500千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金	繰入金						
決定額	3,623	1,811						1,812	△70
前年額	3,693	1,846	1,847					0	

事業内訳書

事業名	循環器対策推進事業費		
単位事業名	循環器病対策推進協議会運営事業	予算額	3,283千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	1,641	45	感染症予防費補助金 補助率 1/2
一般財源	1,642	45	
合計	3,283	90	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	2,031	△95	循環器病対策推進協議会委員謝金 17人分 1回 脳卒中部会・心疾患部会委員謝金 20人分 3回
需用費	14	△126	食糧費、消耗品
役務費	33	△4	資料送料
委託料	1,100	600	県民向け公開講座等の委託
使用料及び賃借料	105	△285	協議会及び部会の会場使用料、県民向け公開講座の会場使用料

単位事業名	循環器病対策推進協議会運営事業	予算額	3,283千円
-------	-----------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	3,283	90	

単位事業名	地域連携推進事業	予算額	340千円
-------	----------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	170	△80	感染症予防費補助金 補助率 1/2
一般財源	170	20	
合計	340	△60	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	300	0	講師謝金 2人 5回
需用費	40	△60	消耗品
合計	340	△60	